

【議案第61号関連資料】

待機児童対策等のさらなる取組みについて

本市では、平成28年度から待機児童解消に向けた緊急対策を行い、4年間で4,100人の受入枠増を図ってきましたが、就学前児童数の増加や保育所等利用希望者の増加により、令和2年4月1日現在で365人の待機児童が発生しました。

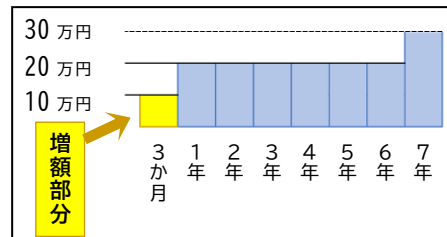
今年度は都市公園や公立幼稚園などの公共空間を活用した施設整備などにより、合わせて1,500人の受入枠の拡充計画を立て取り組んでいるところですが、今後、年度途中開園に伴う施設整備や保育士確保を強力に進めるため、補正予算案を提出し、さらなる取組みを行い、令和3年4月の待機児童の解消を目指します。

1 保育士確保の取組み

今後、保育施設の年度途中開園（保育所2園ほか）を予定していますが、それに伴い新たに保育士が必要となってくることや、新型コロナウイルスの影響により、保育・教育現場への就職についての不透明感が増していることを踏まえ、「保育士を応援する」様々な取組みを強化することで、本市への就労を後押しします。

(1) 保育士定着支援金〔直接給付〕の拡充
【予算額：5,000千円】

明石で働きたいと考える保育士をより多く確保するために、現行の最大150万円の支給に、採用から3か月経過後10万円を増額することにより、最大160万円を本人に直接支給します。＜対象者＞50名



最大150万円 → 最大160万円を
全額本人に給付

(2) PR動画の作成

明石で保育士として就職した後のライフプランイメージが描ける内容の6分程度のPR動画を作成し、明石市で働くことの魅力をPRします。

現在、対人型のイベントである就職フェアやバスツアーの開催が難しいことから、インターネット上で市の施策や園の情報を充実させ、発信することで、本市での就労につなげます。

【予定額500千円については予算執行残で対応】



(3) 新たな雇用形態のマッチング【予算額：1,000千円】

現在働いている保育士の職場環境が改善し保育の質の向上につなげるとともに、求職者にとって就労形態の幅が広がり、就労意識が高まる取組みとして、保育士総合サポートセンターの就業支援事業に、従来の常時雇用に加え新たな雇用形態のマッチング事業を行います。

なお、予算科目は、サポートセンターのシステム変更委託料です。

①スポット勤務保育士の雇用

保育士が研修や子どもの行事に参加する場合や、イベント時などの繁忙期に、短期間勤務の人員が必要となった場合に、スポットで勤務できる保育士をマッチングする事業を行います。

②学生アルバイト

アルバイトなどを行いそのまま就職に結びつきやすいように、保育現場での学生保育補助のアルバイト求人を掲載し、保育施設と学生の新たな繋がりを応援します。

2 量の確保の取組み【予算額：60,000千円】

公立幼稚園内小規模保育事業所の開設に向けて、昨年度実施する予定であった整備事業を一部今年度で実施することなどから、幼稚園の既存施設の修繕及び備品購入などに係る費用を追加補正します。

<修繕料> 現計予算 21,000千円→見込み 71,000千円〔50,000千円補正〕

<備品購入費> 現計予算 9,000千円→見込み 19,000千円〔10,000千円補正〕

<参考>

今年度整備見込み

施設種別	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	開園予定時期
小規模	2園	12	12	14				38	R2.5
保育所	2園	12	18	19	29	31	31	140	年度途中
小規模	幼稚園内他	12	30	30				72	R2.10,11
分園	2園	10	10	33	17	17	18	105	年度途中
保育所 こども園	6園	38	84	85	98	98	97	500	R3.4
	公園内3園	21	48	60	70	75	75	349	R3.4
小規模	8園	24	64	64				152	R3.4
企業主導型	6園	18	48	60				126	R3.4
合計		147	314	365	214	221	221	1,482	